



(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2025年4月1日

神奈川支部

〒231-0026 横浜市中区寿町 1-4

支部ニュース

かながわ労働プラザ 7F

Tel・Fax 045-633-3618

日本労働安全衛生コンサルタント会は、
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的にしています。

発行責任者

赤松 由通

目次	○ 支部長挨拶 P 1	○ 南関東ブロック会議 P 2	○ 総務委員会報告 P 4	○ 事業部会報告 P 6
	○ 研修委員会報告 P 7	○ 事業部新入部員紹介 P 9	○ 表彰者の紹介 P 12	○ 編集後記 P 12

【赤松支部長挨拶】

前年6月支部総会で支部長に選出されて、はや8カ月が経過しました。

大きな行事であった南関東ブロック会議の幹事支部として、計画・立案・実施作業を事業部会メンバー主体で行い、本部、東京・埼玉・千葉支部幹部との情報交換ができたことは、今後の神奈川支部運営に参考となると感じました。また、神奈川労働局からの来賓として労働基準部長・安全課主任・健康課課長に出席いただき、神奈川労働局管内の労働災害の現状について情報



共有させていただきました。詳細については、本会機関誌 No.153 号 P74～P79 で確認願います。6年ぶりの幹事支部開催となりましたが、ブロック会議の段取りを行った経験のある支部会員が高齢化等の理由で少ない中での計画・立案・実施作業となりました。新規の支部会員、事業部会員の支援を頂き、ブロック会議後の情報交換会までスムーズな運営が出来たことは、支部活動での協力姿勢に対して関係各位に感謝申し上げます。

また、令和7年度は神奈川支部創立50周年に当たります。前回は、創立25周年(2000年として特別講演・特別支部ニュース等を実施、発行しています。現在は神奈川支部所属の支部会員、事業部会員も年数が経過するごとに年齢を積み重ねて、活動範囲、内容が小さくなってきているのが現状です。半面、3～4年前からの神奈川支部への入会者は、50～60歳代と若手の労働安全衛生コンサルタントが増えてきております。今までの神奈川支部活動の歴史を見直し、活動内容の把握、神奈川労働局・各労基署との接触等を振り返る機会と捉えて、記念誌を作成・発行していく考えで、令和6年12月より、50周年記念に関する活動を開始しています。担当区分けは

- ① 式典担当チーム
- ② 記念誌担当チーム

の2チームとして、過去からの情報収集(活動内容、活動写真等)を行い、将来の神奈川支部の姿が予想できればと考えています。支部会員からの過去活動の情報(行事内容、事業場見学等)を頂ければ、幸いです。

令和6年11月に神奈川労働局主催の『神奈川 小売業・介護施設+Safe 協議会』へ神奈川支部とし

て入会し、令和7年2月5日(水)に赤松+矢崎常任幹事が初めて出席しました。組織紹介として、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部の組織、活動内容等を説明しました。他出席組織の方においては名刺交換時『コンサルタント会の活動内容を理解していない』との感想を頂き、コンサルタント会としてのアピール不足を感じ、また今後の Safe 協議会活動への支部会員皆様からの協力、支援をお願いいたします。

神奈川労働局ホームページでは1月末現在、労働災害死亡者数:35名、死傷者数:7,518名(コロナ感染除外)となっています。第14次労働災害防止計画(神奈川版)の労働災害死亡者数:26名、死傷者数:7,620名を超えそうです。(年度確定値は、5月中旬となりますが)神奈川支部として神奈川労働局、各労基署との連絡を密にとり、各労働災害防止団体を主とした関係団体との情報交換を行い、労働災害の再発防止に寄与していく考えですので、支部会員皆様からの協力、支援をお願いいたします。各種会合への出席、講習会への講師派遣等の依頼情報があれば、神奈川支部へ連絡願います。その都度、対応していく考えです。

6月13日(金)に支部総会、6月23日(月)に本部総会が開催されますのでスケジュール確保をお願いいたします。

【南関東ブロック会議開催報告】

《事業部会会員 萩田敦司》

令和6年10月25日に神奈川労働局より池内伸好労働基準部長他3名の御来賓と埼玉・東京・千葉・神奈川各支部より28名が出席し、南関東ブロック会議が開催されました。詳細は機関誌「安全衛生コンサルタント:No.153 令和7年1月20日」を参照して下さい。

1. 会議次第

1.1 日時:令和6年10月25日(金)、13:00～かながわ労働プラザ4階、
17:00～情報交換会(萬珍楼本店)

1.2 出席者:来賓3名 池内労働基準部長他、本部2名 三浦会長他、埼玉支部5名 中澤支部長他、
東京支部4名 塩家支部長他、千葉支部3名 増山支部長他、神奈川支部14名 赤松支部長他

2. 開会挨拶要旨

神奈川支部・田村副支部長の司会進行でより、参加者の自己紹介後、幹事支部の挨拶がありました。

2.1 開催支部支部長挨拶 神奈川支部 赤松支部長

神奈川支部としては2018年より6年ぶりの幹事支部となりました。会員の高齢化の問題や新規会員への教育方法等の課題を抱えていると思います。情報交換を行い、今後の支部運営の参考になれば幸いです。



2.2 本部役員挨拶 本部 三浦会長

本年度は第14次労働災害防止計画の2年目になり、休業4日以上
の死傷災害では、転倒・腰痛災害等の行動災害防止対策に力点が置
かれており、その中心が第3次産業にシフトしています。これらの行動
災害防止対策としてSAFEコンソーシアムが立ちあがりました。当会か
らリストアップされた会員は、積極的な参加をお願いします。(以下略)



2.3 来賓挨拶 神奈川労働局労働基準部長 池内伸好氏

本日の会議が6年ぶりに神奈川の地での開催とのこと、大変光栄に感
じています。本年は第14次防5か年計画の2年目となり、7か月が経過し
ました。9月末現在、死亡災害で亡くなられた方が508名で、南関東4都
県で全国の約20%を占めるなど、極めて憂慮すべき状況にあります。

これに対処するため、リスクアセスメントの具体的な取り組み実施や労
働安全衛生マネジメントシステムの構築が重要で、労働安全・衛生コン
サルタントの皆様には、産業安全・労働衛生の専門家の立場からご指導
いただいておりますが、昨年にも増してご指導をお願いしたい。



3. 講演

3.1 神奈川労働局労働基準部安全課主任産業安全専門官 永吉浩一 氏

リーフレット①「第14次労働災害防止計画(神奈川計画)の概要」②
「労働者私傷病報告事項が改正され、電子申請が義務化されます」
③「労働安全衛生関係の一部の手続きの電子申請が義務化されます」
に基づく講演がありました。



3.2 神奈川労働局労働基準部健康課長 畑野 俊氏

リーフレット「令和6年度労働衛生行政のあらましに基づき、(1)労働者
の健康確保対策の推進、(2)化学物質等による健康障害防止対策の
推進について」のご講演がありました。



4. 議事1

4.1 本部からの報告 本部 田中専務理事

I 概要 ((1)会員の状況、(2)会議等の開催状況)、II 事業実施状況 ((1)研修事業、(2)調査研究事業、
(3)受託事業等、(4)アンケート調査について、(5)出版事業その他、(6)令和7年度定時総会事前のご
案内について、(7)新規会員への支部単位での育成について、(8)SAFEコンソーシアム及びSAFE協
議会等への積極的な関与について)

4.2 各支部からの報告

報告項目は、(1)会員数、(2)安特・衛特、(3)化学物質自立管理活動、(4)コンサルティング業務、
(5)広報活動、(6)研修活動、(7)新入会員研修、(8)その他活動、(9)問題点

5. 議事2 第14次防に示された「労働安全衛生コンサルタントの活用」について

以下の項目に関する各支部の現状と今後の課題についての発表がありました。(1)安全衛生管理特別指導事業場への対応状況、(2)「コンサルタントの活用」について、現状の問題点等、(3)本部との連携等、(4)労働局、労働基準監督署との関係等

6. 次回開催支部挨拶 東京支部 塩家支部長

2025年10月24日に芝パークホテル（@御成門駅そば）で実施の予定です。

以前勤務していた会社とのつながりでコンサルタント業務になる場合があるので、今後の新入会員に期待したい。



7. 情報交換会

横浜中華街の「萬珍楼」で開催し、盛況な情報交換となり無事終了しました。



【総務委員会報告】

《副支部長・総務委員長 藤原政志》

《計画に基づき実施できたこと》

令和6年度は、役員改選、南関東ブロック会議の幹事支部としての活動もあり例年に増して多忙な日々を過ごしています。特にコロナ禍は自粛していた懇親会も再開し、楽しい雰囲気の中で他支部のコンサルタントとコミュニケーションを図り情報の共有化ができたことは有意義でした。

総務委員会として行っている主な活動は次の通りです。

(1)常任幹事会、幹事会

年度初めの計画に基づき変更なく実施しています。計画に基づく進捗状況を”表-1 常任幹事会、幹事会日程”に示します。

(2)広報に関すること。

①支部ニュースは、水上リーダーの下10月に発行し次回発行の4月に向け準備しています。

②外部寄稿は、(公益社団法人)神奈川労働安全衛生協会に「災害一口メモ」と称する労働災害防止のワンポイントレッスン記事を毎月提供しています。現在の執筆者は黒川(亮)安全コンサルタントが今年1月から6月まで担当します。

(3)支部ホームページの運営に関すること。

支部事務所で安全衛生全般に関する相談を受けます。その際、多くの相談者がホームページを見て相談してきたことが分かりました。ホームページは、顧客の立場で見易く・分かり易いように配慮していま

す。

《直近の課題》

(1)地区別担当者

県内 12 の労働基準監督署を川崎地区(川崎南、川崎北、鶴見)、横浜地区(横浜南、横浜北、横浜西)、県央地区(小田原、厚木、相模原)、湘南地区(藤沢、平塚、横須賀)の4つのブロックに分けて、リーダー・サブリーダーを決めて既に構築し運用している労働基準監督署との適切な関係の継続を図っています。

昨年末に事業部に入会された6名のコンサルタントに関しては、基本的には住居地に近いブロックのメンバーにしたいと考えていますが、各ブロックの人数バランスを考慮すると居住地から離れたブロックのメンバーをお願いすることもあります。

(2)支部ホームページの更なる充実に向けた活動

支部ホームページ運営委員会では、内沼リーダーの下支部会員に対して支部ホームページに関し、次の内容の意見等の提供をアンケート形式で予定しています。

①ホームページの利用状況と内容についての意見

- 改善提案等(もっと見易く、コンサルタント会の魅力を伝える意見等)について
- その他何でも意見・提案

②実施時期は、アンケートを4月上旬に予定しています。

③アンケート結果のまとめ、建設的な意見・提案への対応をアンケート回収次第行いたいと考えております。

表-1 常任幹事会、幹事会日程

年月日	常任幹事会	幹事会	備考
令和6年 6月 14日(金)	令和6年度支部定期総会		役員改選
		第1回幹事会	
7月 20日(土)	第1回常任幹事会		
7月 27日(土)		第2回幹事会合同会議	
9月 7日(土)	第2回常任幹事会・第3回幹事会合同会議		午後研修会
10月 12日(土)	第3回常任幹事会		午後研修会
12月 7日(土)	第4回常任幹事会		午後研修会
令和7年 1月 11日(土)	第5回常任幹事会・第4回幹事会合同会議		午後研修会
3月 8日(土)	第6回常任幹事会		午後研修会
4月 12日(土)	第7回常任幹事会・第5回幹事会合同会議 予定		午後研修会予定
6月 13日(金)	令和7年度支部定期総会 予定		

【事業部会報告】

《副支部長・事業部会長 竹内春樹》

各位におかれては、神奈川支部及び事業部活動に日々ご協力をいただき感謝申し上げます。
令和6年度の事業部活動等について報告します。

《事業部会員》

事業部会員は、昨年労働安全コンサルタント3名、労働衛生コンサルタント2名、労働安全・衛生コンサルタント(共有)1名の計6名の入部があり、計50名で活動しています。

《安全・衛生管理特別指導事業場案件について》

安全・衛生管理特別指定事業場については、神奈川労働局管内で令和6年度37事業場が指定されて4月5日(金)にその説明会(趣旨説明・書類作成要領)が開催されました。説明会の最後にコンサルタント会神奈川支部として安全・衛生管理特別指定に対する支援活動について赤松支部長が説明されました。その後、神奈川支部には8事業場から相談依頼がありましたが、客先での社内調整により結局4事業場から正式な業務依頼となり、公募した結果、その4件の契約となりました。

(内訳は安全関係3事業場、衛生関係1事業場となっています。)

《公募案件について》

公募案件は、2月10日現在19件の依頼がありました。依頼者からの依頼があった場合は、速やかにその依頼者の事業場に出向き、直接そのご用件を伺い、ご要望を的確に把握した上で公募をするようにしています。また、依頼者との打合せでは、当事業部の若い方にも早く多くの経験を積んでいただくため、依頼者に対し出来る限り複数名でのコンサルタントの対応を認めてもらうよう努めています。

その依頼者との打合せ後、18件は一般公募で1件は指名公募を行いました。(指名公募とは、依頼者の要望に対し、力量的及び納期的観点から対応可能なコンサルタントに限られる場合で、事業部会長が対応できるコンサルタントを指名し、以降依頼者対応をしていただく、という形態のものです。)その結果、一般公募では、残念ながら2件は応募者無し等理由で依頼者に断りましたが、16件は応募があり、その後無事に依頼者との業務をしていただいております。この一般公募及び指名公募で受託した業務に関する依頼者の業種と依頼内容は、以下表1の通りです。

今年の依頼者からのご要望の傾向として、新たな化学物質管理に関する指導やこれに関する安全講習の依頼が増えていることが挙げられます。問い合わせのあった依頼者と面談すると、新たな化学物質管理の具体的な展開、安全衛生管理体制、1人親方への対応等法令改正に関連する関心が高いと感じています。また、診断・指導・講習では分かり易く説明してもらえる方を希望されることも多くありました。事業部会の皆様におかれましては、今後も自己研鑽や神奈川支部での研修会への積極的参加等をしてコンサルタント能力をより高めていただき、公募があった際は是非応募して下さるようお願いいたします。

《受託事業について》

受託事業では、横浜市からの「受動喫煙防止対策事業」があります。これは以前から横浜市と年間契約として継続しているものでしたが、令和6年度は相談の都度での契約形式となり、相談対応をしています。

公募案件(一般公募、指名公募)の詳細を次ページに掲載します。

No	業種等	依頼内容	件数
1	製造業(主な製品等、依頼内容)		10
	食料品製造	安全衛生診断・指導	
	食料品製造	安全衛生診断・指導、化学物質管理指導	
	飲料缶製造	作業環境改善、化学物質の管理指導	
	電子機器製造	化学機械設備・化学物質の管理指導	
	塗料製造	化学物質管理、保護具の選定・管理の指導	
	工作機械製造	機械の据付・点検作業時の安全化指導	
	自動車ボディ製造	作業環境の改善指導	
	化学品製造	安全講習	
	鉄道車両電装品製造	安全講習	
2	行政機関	受動喫煙防止の助言、指導	1
3	建設業	橋梁補修工事の安全診断・指導	1
4	建設業組合	安全講習	1
5	化学洗浄・除染業	化学物質管理の構築・指導	1
6	通信事業	安全衛生診断・指導、化学物質管理指導	1
7	木材生産組合	労働安全指導者養成研修	1
8	教育業	セミナー教育の講師	1
合 計			16
No	指名公募		件数
1	行政機関	リスクアセスメント講習	1

【研 修 委 員 会 報 告】

《副支部長・研修委員長 田村 紀裕》

2024年度(令和6年度)から研修委員長を務めることとなりました田村紀裕です。

本年度計画で承認された事業計画に基づき、研修会、新入支部会員ガイダンス、新入事業部会員教育等をほぼ計画通り推進してきましたので、概況を報告します。

(1)支部研修会

令和6年度の支部研修会は、従来同様の年間6回、土曜日午後の開催の計画としました。開催方式は、コロナ禍を脱したこともあり、できるだけ出席者のコミュニケーションを図るために、全てかながわ労働プラザ会議室での対面方式のみとしました。研修内容については、支部会員や事業部会員のコンサルタント経験の少ない方が増加していることを踏まえ、数多い法改正(例えば化学物質等)への対応やコンサルタントとしての意識や専門性の強化につながる活動事例などを新たに研修テーマとして取り上げる事としました。なお、研修会参加費用は、3,000円とし、研修会後の情報交換会も実施することとしました。

令和7年3月までの実施状況は計5回実施し、研修会参加者は40名を超える時もあり、毎回多くの質問が出る等活況に推移しました。(5回合計参加者 183名)

また、研修会後の情報交換会も、毎回多くの参加者があり当日の講師を交え盛況で有意義なも

のとなりました。継続して進めてまいりたいと考えています。

令和6年度の研修会の各テーマは以下の通りです。

＜令和6年度実施済テーマ＞

- ・9月「これから労働安全コンサルタントとして活動するために（支部長として）」
「コンサルタント業務に役立つITスキル（基礎復習編）」
- ・10月「これから労働衛生コンサルタントとして活動するために」
「高齢者の運動機能と転倒災害への影響」
- ・12月「コンサルタント一味ヒント研修その1」
「これから労働安全衛生コンサルタントとして活動するために」
- ・1月「新たな職場の化学物質管理 事業場外専門職としての接点と対応」
「化学物質の保護具選定と管理について（フィットテストデモ含む）」
- ・3月「コンサルタント一味ヒント研修その2」
「神奈川を襲う地震と津波」

＜令和6年度今後の予定テーマ＞

- ・4月「労働災害発生から労働安全衛生法等の改正に至る経過について」
「労働安全衛生の裁判凡例事例等（仮題）」

(2) 新入支部会員への支部ガイダンス

令和6年度は支部入会者が11名おり、9月21日にその新入会員向けに支部及び事業部の活動状況についてガイダンスを実施しました。

- ・当日参加者は9名（前年度入会2名含む）で欠席者にはガイダンス資料を送付
- ・参考：入会者年齢 40歳代5名、50歳代4名、60歳代2名

(3) 新入事業部会員教育

令和6年度は新入支部会員ガイダンス等で勧誘等をした結果、支部事業部入部者が6名となり、12月7日に新入事業部会員向けに事業部の活動状況やコンサルタントとしての必要事項を教育しました。

- ・当日参加者は7名（前年度入部1名含む）で全員参加。
- ・参考：入部者年齢 40歳代1名、50歳代3名、60歳代2名

(4) 施設見学会

令和6年度は見学受け入れ先の動向を勘案し検討した結果、3月10日に役員向けとして、JR東日本東京総合車両センターの見学会を実施しました。継続的に実施する方向で検討してまいります。

(5) 研究会活動

現在、研究会活動を実施しているのは、「労働衛生研究会」と「化局（化学物質・局所排気装置）研究会」です。いずれも専門知識の研鑽と相互協力により大変熱心な活動を展開しています。新たな研究会活動のご提案もお待ちしております。

支部会員の皆様におかれましては、今後聞きたい研修テーマや見学したい施設等ございましたら、有益な情報と共に研修委員会にご連絡くださるようお願いいたします。

【事業部新入部員の紹介】

【氏名】 臼井 紀亮(うすい のりあき) 【年齢】 53 歳

【区分】 労働衛生コンサルタント(労働衛生工学)

【専門事項】 作業環境測定結果の評価及び作業環境改善、化学物質のリスクアセスメント導入支援、化学物質管理支援、公害防止改善、アスベスト診断

【経歴】

エンジニアリング会社に就職し、環境測定部門に配属され現在に至っています。環境測定といいますが範囲が非常に広く、私は主に作業環境測定及び環境計量証明事業に約 30 年間携わり、平成 17 年からはクボタショックを機に、アスベスト分析及び事前調査の事業立ち上げにも携わりました。現在は課の管理職として、受売利管理、品質管理、人材管理、行政対応、監査対応等、課全般の管理業務を行っています。また、会社では安全衛生委員として、安全パトロール、ヒヤリハット活動の推進、化学物質管理者及び保護具着用管理責任者として課内の化学物質管理等を行っています。一方、社外に対しては、化学物質のリスクアセスメント導入支援、作業環境改善提案、作業環境測定及び個人暴露濃度測定を実施し、化学物質管理の支援を行っています。

【事業部会での抱負】

私はコンサルタントとしてスタートラインに立たせていただいたに過ぎず、右も左も全く分からない状況ですが、事業部会では諸先輩方々のご指導を賜りながら自己研鑽に取り組みたいと考えています。私は現在会社勤めをしている為、事業部会のイベント参加については制約が加わってしまうと思いますが、機会をいただければ積極的に参加させていただきたいと考えていますので、今後とも何卒宜しく願い申し上げます。



【氏名】 増田 祐一(ますだ ゆういち) 【年齢】 45 歳

【区分】 労働衛生コンサルタント(保健衛生)

【専門事項】 特に化学物質の管理体制構築(特定化学物質、有機溶剤)やリスクアセスメントを得意としています。また、労働衛生の三管理の観点から、製造現場の粉じん・酸欠防止対策、熱中症、騒音・振動・腰痛対策を得意としています。従業員のメンタルヘルス、ハラスメント対策や、高齢化にともなう VDT 作業改善指導、健康経営のための受動喫煙防止対策なども専門的に診断・指導することが出来ます。

【経歴】

大手食品メーカーにて研究所、本社、製造工場で品質保証をキーワードとした業務経験を積みました。特に製造工場では、酸欠防止を目的として品質保証に関わる分析機器を液体窒素素入のものに変更するなど、作業環境管理と ECRS の観点から労働衛生環境の改善に取り組みました。また、化学物質の安全使用のために局所排気装置を増設するなど、従業員の健康管理のために必要な予算化に取り組んできました。2024 年 6 月に品質保証力向上と健康経営の両立に広く貢献するため、食品・労働衛生事務所を設立し、活動しています。

【事業部会での抱負】

健康経営を広く実現するため、しっかり勉強しながら社会貢献したく考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



【氏名】 大塚 靖(おおつか やすし) 【年齢】 59 歳

【区分】 労働安全コンサルタント(土木)

【専門事項】労働安全衛生マネジメントシステムの運用、現場安全パトロール、安全教育、事故災害分析、再発防止策提案、リスクアセスメント

IRCA/JRCA 登録 ISO9001(品質) 審査員

令和7年は ISO45001(労働安全衛生) 審査員資格に挑戦

【経歴】

土木工学科卒。平成3年(1991 年)総合プラントエンジニアリング会社入社後プラント土木施設の積算、基本/詳細設計、現場管理、仕様書作成、下請け工事契約等を担当。現場赴任は関西国際空港、インドネシア化学プラント、マレーシア製油所。その後、建設コンサルタント会社に移り、途上国向けのインフラ施設 ODA の JICA 事業化調査(FS)団員。任地はカザフスタン、ドミニカ共和国、リビア、ベトナム。その後、財閥系重工会社に移り、マレーシア向け化学プラントの土木施設設計。平成 29 年(2017 年)に新卒で入社した今の会社に復職し、SQEI部で労働安全衛生の部署に配属。今に至る。令和5年3月に労働安全コンサルタント資格を取得。

【事業部会での抱負】

自分のこれまでの経験を生かして安全の分野で社会に貢献していきたいです。依頼主の悩みに寄り添うようなコンサルタントを目指しています。事業部会ではまずは諸先輩から様々なことを学び、吸収していきたいと思います。



【氏名】 押山 淳(おしやま あつし) 【年齢】 66 歳

【区分】労働安全コンサルタント(機械)

【専門事項】安全意識醸成のための活動全般

リスクアセスメントにおける本質安全化への指導

災害発生時における原因分析及び再発防止策の立案

組織・部門監査による改善点の抽出と改善に向けた取り組み

各種安全衛生教育における、カリキュラム編纂及び講師育成指導

【経歴】

建設工事会社に 44 年間勤務(令和7年1月現在も継続中)

- ・ 安全衛生教育講師 ➡ 新入社員からベテラン管理者層まで全般
- ・ 現場パトロール ➡ 全国各地の現場に足を運び自分の目で確かめる
- ・ 関係請負会社への安全管理診断 ➡ 事業規模・成熟度に応じた支援
- ・ その他、社内・社外関係者からの各種安全関連の様々な問い合わせ対応他

【事業部会での抱負】

(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部会員として

- ・ 引き続き研修会等を通じ自己研鑽に努め、新たな知識を吸収したうえで
- ・ 企業で培ってきた安全管理のノウハウは一企業、一業種に過ぎないものであり
- ・ 本部会活動を通じて製造業をはじめとする全業種、さらには衛生面にも目を向けて
- ・ [独自のコンサルティング]により全ての企業に対してコンサルタント活動を展開します。



【氏名】 桑江 良明(くわえ よしあき) 【年齢】67 歳

【区分】 安全(電気)、衛生(衛生工学)

【専門事項】安全衛生教育全般(OSHMS、リスクアセス、労働安全衛生法、ほか)、発電所等保守・建設現場等安全巡視、安全指導

主な保有資格:第一種電気主任技術者,原子炉主任技術者,第一種放射線主任者,技術士(原子力・放射線)

【経歴】

職歴:1980 年電源開発株式会社(J-POWER)入社、火力発電所運転業務の後、原子力発電所建設計画・設計・施工管理に約 30 年従事。現在、総合安全・保安推進部所属。2003-2005 年大間原子力建設所安全管理者(選任)、2023～本店衛生管理者(選任)

学協会活動:日本技術士会原子力・放射線部会長(2012-16)、理事・倫理委員長(2017-20)、日本産業保健法学会(2024～)

大学非常勤講師:東京工業大学ほか首都圏複数の大学で「技術者倫理」「発電工学」等担当。

【事業部会での抱負】

企業内で安全衛生教育の企画・運営・講師を約 10 年間担当してきた経験を活かし、企業の上層部(役員等)に対する安全意識向上教育、労働安全衛生コンサルタントの受験指導、大学等教育機関の安全衛生管理・教育の分野で、同様の関心をお持ちの会員の皆様と活動を共に出来れば幸いです。今後ともご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。



【氏名】 中村 淳也 (なかむら じゅんや) 【年齢】 52 歳

【区分】 労働安全コンサルタント(建築)

【専門事項】 プラントエンジニアリング業・建設業・ビルメンテナンス業における安全管理(安全衛生教育の講師、安全衛生規定類の作成、88 条計画届の社内審査、現場安全衛生監査、現場安全衛生パトロール、事故・災害調査)

【経歴】

大学卒業後、東京に本店がある商社系のエンジニアリング会社に入社し、建設工事等の施工管理を約 16 年、その後、新型コロナウイルスが転機となり、横浜の自宅から近い、みなとみらいに本社があるエンジニアリング会社に転職しました。

現在も社員として在籍中です。私の所属部署は国内の建設工事担当です。現場数は約 40 あり、私の業務担当は、国内建設現場の安全と環境を統括管理することです。本社での社内基準作成などデスクワークが主な業務です。現場への訪問回数は月に 2 回程度と少ないですが、店社パトロールや社内監査等などで様々な建物用途の建設現場を巡回した経験があります。現在も建設現場の建物用途や規模に適した安全指導を継続中です。また、昨年ですが、国内外の 1,200 名以上が参加する社内安全イベントの実行員会サブリーダーを経験したことで、人脈を広げることができました。

【事業部会での抱負】

神奈川支部の皆様、実は私が勤務している会社規定では副業が禁止のため個人事業は出来ない状況なのですが、伝統ある神奈川支部の皆様と繋がりを持ちたく思い事業部会に入会いたしました。今後の勉強会や情報交換会に積極的に参加することで皆様との接点を多く持てたらと思います。よろしくお願いいたします。



【副支部長の竹内春樹さんが令和6年度 緑十字賞受賞】

副支部長の竹内春樹さんが中央労働災害防止協会から昨年11月13日に広島で開催された令和6年度全国産業安全大会で「緑十字賞」を受賞されました。

（竹内さんは、緑十字賞の3分類のうち、産業安全で受賞。）

この賞は、産業安全又は労働衛生の推進向上に尽くし顕著な功績が認められる個人、職域グループ等に贈られるもので、竹内春樹さんは(公社)神奈川労務安全衛生協会様からの推薦で表彰となりました。

因みに、令和6年度の「緑十字賞」の受賞者は、全国で、産業安全で32名、労働衛生で14名、安全衛生で31名の計77名でした。



緑十字賞を受賞された竹内さん

《神奈川支部会員、事業部会員の皆様へのお願い》

知人・友人・後輩等の中で労働安全衛生コンサルタントの資格を有している方がおられましたら、是非、神奈川支部への入会、支部事業部会への入部の声掛けを、また紹介情報でも結構ですので、おられましたらご連絡の程、よろしくお願いいたします。

事業部会長 竹内 春樹

《編集後記》

今回の支部ニュース第50号は、支部長の挨拶、神奈川支部が開催支部を務めた南関東ブロック会議の開催結果報告、令和6年度の支部活動報告と新入事業部会員6名の紹介、竹内副支部長の令和6年度緑十字賞受賞報告等を掲載しました。記事は各執筆者に作成をお願いしました。

支部ニュースをよりよくするために、多くの皆様方からのご意見と感想をお待ちしております。

（編集委員一同）